



北光だより

児童養護施設
北 光 学 園
〒099-0702
北海道紋別郡遠軽町
生田原伊吹46番地3

「大谷選手のノート」

園長 堤 茂樹

日本ハムファイターズから大リーグのロサンゼルス・エンゼルスに移籍した大谷翔平選手を知らない人はいないでしょう。残念なことに、6月8日に右肘の内側側副靱帯（じんたい）の損傷で故障者リストに入ってしまったが（この北光だよりを皆さんが読まれる頃には復帰しているかもしれませんが）、それまでの活躍はほぼ毎日テレビや新聞で報道されていたので皆さんご存じのことだと思います。大谷選手は恵まれた身体と天性の運動能力を備えた超一流アスリートで野球以外のスポーツ

をやっても、必ずトップ選手になるだろうといわれていました。超一流アスリートは身体や運動能力だけではなく、優れた知的能力や精神的な強さも必ず兼ね備えています。大谷選手も例外ではありません。

不本意にも大リーグのオープン戦では投げては打たれ、打つても前に飛ばず、成績が低迷していました。しかし、普通なら落ち込んでしまうところですが、彼は平然としていました。私はその理由を知りたいと思っていましたが、朝日新聞にそのヒントが書かれてありました。

野球監督だった大谷選手のお父さんは、小学5年生だった大谷選手に「野球ノート」をつけさせました。

学園目標

「心」、「体」、「行」の調和がとれ、心豊かでたくましく生き抜く子供を育てる。

「プレイ内容」「配球」「結果分析」「良かった点・悪かった点」「改善点」「次回までの課題と具体的な行動（練習内容）」等を書かせ、お父さんがその日の評価やアドバイスを返すというものだそうです。言葉にして書くことで、考えが整理されます。その日起こったことを冷静に見つめる中で、問題点が明らかになり、課題が見つかります。大切なことは、課題に対してどう対処するか、つまり悪かったときに次に何をすればよいかを自ら考えて行動に移すことです。具体的に、何をすべきかがはっきりすること、頭が整理され、同時に心も整理されたのではないのでしょうか。失敗や困難も落ち込む材料では

なく、起こってしまった客観的な事
として分析の対象となり、そこから
自分がさらに向上する為のヒントが
生まれてくる貴重な体験と捉えられ
るのだと考えられます。また、「書
く」だけでストレスが解消され、不
安が軽減されてすっきりする効果が
あると聞きます。

自分であれこれ考えて工夫するこ
とは楽しいことです。その過程自体
が楽しいし、努力した結果が目に見
える形で出てくると意欲も増してき
ます。成功体験が積み重なることで
野球が楽しくなり、そして野球のレ
ベルも少しずつ上がっていくという
好循環が生まれていったのでしょ
う。

業務プロセスの管理手法にPDC
Aサイクルという方法があります
が、大谷選手はこの方法を自分で毎
日行っているのかもしれない。イ
ンターネット百科事典「ウィキペ
ディア」によれば、PDC Aサイクル

とは「事業活動における生産管理、
品質管理などの管理業務を円滑に進
める手法の一つ」で「Plan（計
画・従来の実績や将来の予測などを
もとにして業務計画を作成する。）

↓Do（実行・計画に沿って業務を
行う。）↓Check（評価・業務の
実施が計画に沿っているかどうかを
評価する。）↓Act（改善・実施が
計画に沿っていない部分を調べて改
善をする）の4段階を繰り返すこと
によって、螺旋を描くように1周ご
とに各段階のレベルを向上させて、
継続的に業務を改善する。」というも
のです。民間会社などが業務改善の
ために行っているものですが、個人
が行うことももちろん可能です。

このようなノートをつけている世
界的に有名なアスリートが他にもい
ます。フィギュアスケートの羽生結
弦選手です。彼もまた小学校低学年
からコーチに勧められて「発明ノー
ト」を書くようになりました。毎日、

悪かったこと、気になったこと、思
いついたこと等を書き、いろいろ工
夫してみるということをずっと続け
てきました。大谷選手と同じように
PDC Aサイクルを自分で回し、日
々工夫する中で自らの技量を高め、
強い精神力を保っているのだと思い
ます。

6月の誕生会の際、子どもたちに
大谷選手と羽生選手のノートの話を
しました。彼らのように、超一流の
アスリートになってほしいと望んで
いるわけではありません。ただ、ノ
ートを毎日つけて日々の生活を反省
し、少しずつ工夫していくことで、
ちよつとしたことに心が折れること
なく、充実した日々を送ってもらい
たいと思うだけです。そして、10
年後、20年後、30年後、彼らの
人生がより良いものになってほしい
と思うのです。

「ショートステイの思い出」

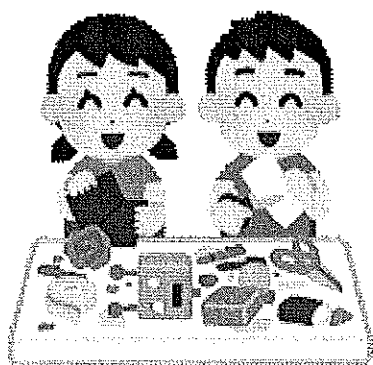
小六 N・S

5月3日にずっと楽しみにしていたショートステイに行きました。何日も前から準備をして、早く行きたいなと待ち遠しかったです。その日のご飯は焼き肉でした。ぼくも一緒に肉を選びました。みんなで食べた焼き肉はとてもおいしかったです。その後、手作りのパフェを食べました。アイスをたくさん入れて作りで難しかったけど、頑張って作ったパフェは最高でした。お風呂は前と変わっていて面白かったです。その日は9時に寝て、次の日は朝早くに起きました。

次の日、朝顔を洗って朝ご飯を食べて待っていると、なんと、とれたての牛乳を飲ませてもらいました。コーンフレークに入れるとますますおいしくて感激でした。お昼には椅子作りをしました。ぼく

も座れるような立派な椅子です。帰って来てお兄さん、お姉さんに見せると、すごいね、座りたいなと言ってくれました。自分でも上手に作れたのでびくりました。

3日目はご飯を食べた後、ウンボに乗せてもらってお手伝いをしました。初めて乗ったので嬉しかったです。ぼくは3日間楽しいことがいっぱいだったなと思いました。ショートステイ先の里親さんが優しくしてくれて、色々考えてくれて嬉しい気持ちになりました。今年の夏休みも行きたいなと思いました。



「定例行事ラウンドワンの思い出」

小六 S・Y

5月12日、毎年行われている定例行事の日だ。今年は旭川のラウンドワンに行くことになり、朝7時から2時間ほど車に乗って向かった。発着してすぐ中に入り、私は中学生と高校生に着いて行くことにした。その日は思いの他ガラツとすいていて、まず3Fでスポーツをしに行った。私は何度も行ったことがあるので、3人を案内した。アーチェリーは高校生のお姉ちゃんがうまかった。あと少しで中心につきささりそうだった。私は一本しかささらなかった。バドミントンをひとしきりした後、2Fに降りてすべり台をすることに。つつの様な形で、赤と青があった。中は真っ黒で何も見えなかった。後に続いた中学生のお姉ちゃんはごく怖がって、おどろかした高校生のお姉ちゃんに怒っていた。

「忙しかった古紙回収」

中二 S・Y

カラオケに行くことになり、3人が歌うなか、歌わない私はお荷物となつた。カラオケから出て、ゲームコーナーで他の子と佐々木お兄さんと遊んだ。佐々木お兄さんが意外と強く、苦戦した。負けた所でちょうど集合の時間になり、プリクラ機にひまわりホーム全員ぎゅうぎゅうで入って、仕上がりは重大事故となつた。それからまた車に乗っていつも行つてるオリーブに行き、めんたいこパススタを食べ、帰園。めんたいこパススタはポリウムがあり、帰りの車でお菓子も食べたので夜ご飯はけっこうきつかった。

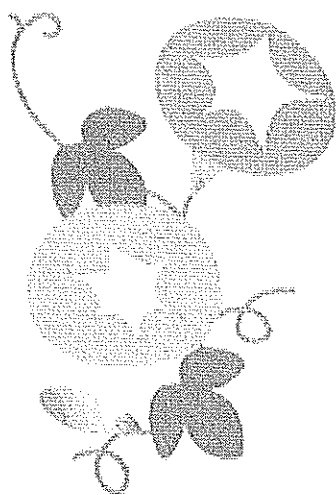
僕は5月26日に古紙回収に参加しました。小学生の頃から何度も参加しています。去年と同じ二班の地区でした。だんだん伺うお宅も分かってくるのでスムーズに行くことができました。大きな声で「おはようございます。北光学園です！」と言うと、お家の人は皆、笑顔で古紙を提供してくれました。「いつもご苦労様!」、「頑張ってるね!」、「また待ってるからね!」と優しく声を掛けてくれます。すごく嬉しかったです。ぼくはあまり体力がないのですが、皆さんの笑顔を見ると力がわいてきます。秋にも古紙回収があるので、それまでに体力をつけてもつと動けるように頑張りたいです。ご協力して頂いた皆様、本当にありがとうございます。

「やき肉パーティー」

小四 Y・I

6月30日にやき肉パーティーがありました。ぼくは、やき肉が大好きなのでずっと楽しみに待っていました。この日は暑くて暑くて、温度計を見ると32度もあってびっくりました。でもやき肉が始まったら全然気にならなかつたです。ぼくのホームは小さい人がいっぱいいるので、お兄さん達がやいてくれました。まだ?まだ?と聞くと、やけてないの食べたら大変だからね。と笑われました。お肉がやけるまで待ちきれなくておにぎりを2こ食べちゃいました。やっとやけて、食べると本当においしかったです。ぼくはサガリもカルビも何でも大好きです。貝がらのついたホタテもあって、やけたらふたがあいておもしろくて笑ってしまいました。ホタテをこうやって食べたのがはじめてだったので、ま

たやいて食べたいです。いっぱい食べておなかもいっぱいになりました。中学生と高校生のお兄ちゃん、お姉ちゃんが、火おこしをしたり、じゅんぴをしてくれました。ぼくも大きくなって中学生になったら火おこしができるようになりたいと思いました。暑かったけど、みんなで外で食べるやき肉は最高だなーって思いました。また今度の行事も楽しみです。



◇北光学園創立記念

七月一六日は北光学園の創立記念です。昭和二七年七月一六日に、児童養護施設として認可され、今年で六十六周年を迎えました。平成六年に施設分園型グループホーム開設、平成一六年には新園舎へ移転と様々な事がありました。以前から子ども達には話していましたが、堤園長から改めて学園の歴史についてお話がありました。初代湯浅文治園長先生、操園母夫妻が、札幌市南区の果樹園を手放し、それから北光学園が設立されたこと。旧園舎は丘の上にあり、今よりも学校へ通うことが大変であったこと。他にも子ども達は真剣な表情で聞いていました。

職員一同も、受け継がれていく学園の歴史について改めて感慨深く感じた日となりました。

《実習生より》

本園と小規模施設きずなホームでは、年間二〇名程の実習生を受け入れています。約一〇日間と実習期間は短いですが、子どもたちと生活を共にしながら児童養護施設の役割等を学んでもらっています。

今年度も五月中旬から学生が実習を行い、先日お礼状が届きましたのでご紹介いたします。

拝啓

すがすがしい初夏の季節となりました。施設長先生はじめ先生方におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

この度の施設実習では大変お世話になり、心からお礼申し上げます。お忙しい中、毎日丁寧なご指導をいただき本当にありがとうございます。最初は緊張や不安がありましたが、施設長先生はじめ多くの先生方

の励ましとご指導のお陰で、次第に
楽しく学びの多い実習となりました。

地域小規模施設きずなホームで実
習をさせて頂き、地域との触れ合い
や、より家庭に近づけている様子を
見ていくことが出来ました。古紙回
収では、児童が回収に行く地域の方
々々が笑顔で声を掛けており、児童
の頑張りを応援してくれていまし
た。児童一人一人真剣に協力し合い
ながら取り組んでおり、私も頑張ろ
うと思いました。

施設実習を通して、援助の重要性
や大変さの中にも楽しさを感じ、ま
すます保育者になりたいという思い
が強くなりました。施設で学んだ多
くの貴重な体験を活かし、これから
も頑張ろうと思います。
末筆ながら、皆様のご健康を心よ
りお祈り申し上げます。

皆様のご厚情に心より

感謝申し上げます

(四月一日～六月三〇日)

【寄附・寄贈等】

横瀬兼二様(東京都)、羽賀商店様
(北見市)、コープさっぽろ様(北見
市)、河原英男様(遠軽町)、(株)
ながさわ様(美幌町)、小山田政博様
(遠軽町)、田村一幸様(常呂町)、
伊藤一輝様(千歳市)、救世軍遠軽小
隊様(遠軽町)、(有)サンフレッチ
エ青木賢一様(遠軽町)、鳥浜恵利子
様(江別市)、三浦勉様(小清水町)、
阿部達也様(遠軽町)、西村様、二俣
正光様(千葉県)、谷口美子様(北見
市)、横山薫様(生田原)、長谷川清様
(生田原)、佐藤敬子様(豊富町)、今
野かずえ様(北見市)、朴木義一様(遠
軽町)、札幌南藻園様(札幌市)、生田
原温泉ホテルノースキング様(生田
原)、置田靖子様(北見市)、太田好子
様(生田原)、斉藤実様(訓子府町)

■行事予定

◇八月

一日	きずなホームキャンプ ～三日迄
二日	サイクリングフォーチャ リティ来園
七日	帰省開始～十五日迄
十一日	七夕花火大会
十三日	里親ショートステイ ～十五日迄
十六日	盆日課～十五日迄
十七日	生田原地区夏祭り (小・中) 始業式
十八日	夜間想定避難誘導訓練
二十一日	(中三) 修学旅行 ～二十四日迄
二十二日	職員会議・給食会議
二十五日	北光祭り・遠軽花火大会
二十九日	家庭・ふれあい通信日 職員会議

◇九月

三日 (紋三) 前提実習

→十月十九日迄

四日 (小一) 見学学習

四日 (中) 期末テスト→五日

五日 (小三・四) 見学学習

職員会議

北見児相連絡協議会

六日 故正邦園長命日

八日 ふれあい交流会

十二日 (中三) 学力テスト

職員会議・給食会議

北見児相連絡協議会

避難誘導訓練

十五日 職員会議

十九日 生田原神社例大祭

二四日 振替休日

十五夜お月見

二六日 (中) コンパス発表会

(中) 遠軽高校体験入学

職員会議

二七日 (小・中) 前期終業式

二八日 (小・中) 秋季休業日

(紋) マラソン記録会

二九日 家庭・ふれあい通信日

◇十月

一日 (小・中) 始業式

道養協現任職員研修会

→三日迄(札幌)

三日 職員会議

五日 (小五) 見学学習

六日 空瓶古紙回収

七日 古紙回収予備日

九日 (紋二) 現場実習

→一九日迄

十日 職員会議

十一日 (中三) 学力テスト

十三日 (中) 事前登校日

十四日 (中) 文化祭

十五日 故横山園長命日

(中) 振替休業日

十六日 (中) 振替休業日

職員会議・給食会議

全国児童養護施設長

研究協議会→十九日迄

二四日 (小) 学芸会総練習

職員会議

二九日 家庭・ふれあい通信日

三一日 職員会議

人事異動について

法人内で人事異動があり、次のように変更がありましたのでお知らせします。

【北光学園】

◎転出

○児童指導員 中川健

六月一日より

障がい児入所施設ひまわり学園へ

○管理宿直専門員 後藤仁美

七月一日より

燦ホームへ

【帰省の案内】

本園で帰省可能となった児童の帰省が八月二日から始まります。八月十五日迄となっております。また、里親さんの所へショートステイに行く児童は

八月十二日～十五日迄の期間です。
在園する児童はお出掛けする他、盆
日課でゆっくり過ごす予定です。
みんな楽しい夏の思い出を作って欲
しいと思います。

■次号の発行は十月頃を予定してお
ります。

【基本理念】

親の心で子どもの自立支援

【ホームページ】

<http://www.hokkougakuen.jp>

子ども家庭支援センターオホーック
電話 0158-4513211
メール kodomo.ks.ohotsuku@wine
pala.or.jp
相談料無料。匿名でも結構です。

北光学園在園数

(七月一日現在)

【定員】 四五名

合 計	そ の 他	高 校 生	中 学 生	小 学 生	幼 児	
1 9	0	3	8	8	0	男 子
1 7	0	8	4	5	0	女 子
3 6	0	1 1	1 2	1 3	0	合 計

地域小規模児童養護施設在園数

(七月一日現在)

【定員】 六名

合 計	そ の 他	高 校 生	中 学 生	小 学 生	幼 児	
0	0	0	0	0	0	男 子
6	0	1	2	3	0	女 子
6	0	1	2	3	0	合 計